

すやま

東京都議会議員【八王子選出】

須山たかし

1980年11月6日生まれ。桐朋高校、早稲田大学社会科学部卒。大隈塾・高野孟ゼミ1期生。特許事務所、連舩参議院議員秘書、府中市議会副議長等を経て、現職。東京都議会 環境・建設委員会副委員長。東京都議会立憲民主党多様性PT座長。



令和4年第4回定例会

令和4年第4回定例会が12月1日から15日に開会されました。

今定例会では重要な案件が多数審議されました。都議会立憲民主党は会派として代表質問で以下の様な質疑をしましたが、いずれも十分な答弁はありませんでした。

●**五輪汚職・談合の再発防止**の事件を調査し、その総括をすべきでは？

A.汚職に関しては捜査を待つ。談合については確認を進めていく。

●**英語スピーキングテスト**は受験生から不具合があったとの声がたくさん寄せられている。公平性に疑義があるテストは都立高校入試に転用すべきでないのでは？

A.適切に実施されている。

●**東京おこめクーポン事業**は現金給付や上下水道料金の支払いなどに充てるなど柔軟な支援にすべきでは？

A.食料品を自宅に配送するほか、対象世帯の生活状況などに応じ、複数のメニューから選択できる仕組みを検討する。

情報コミュニケーション条例の議論スタート！

令和4年第2回定例会に制定された**手話言語条例**。

ここから更に進めて「**情報コミュニケーション条例**」を全会派で議論をする体制が整いました。

会派多様性PTの座長として、議論を進めてまいります。

太陽光パネルの設置義務化へ



今定例会では『都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(環境確保条例)』の一部改正として**太陽光パネルの設置義務化**などを含めた改正案が提出され、都議会自民党等の会派は反対しましたが、可決されました。

人類の活動によって引き起こされてきた気候変動、頻発し激甚化する災害などにどう立ち向かい、また、その発生を緩和させていくのか、未来を担う子どもたちにどうこの地球を引き継いでいくのか、今まさに私たちの行動が問われています。

東京都議会立憲民主党は、気候変動を緩和する脱炭素社会に向けた取組を積極的に進める立場にあり、都が今回提示した、都内建築物に関する環境性能を高める制度の新設、気候変動緩和策の推進を評価し、求めるとして、会派として賛成意見を述べました。

●制度の主な内容

・延べ床面積2000平方メートル未満の一戸建て住宅を含む新築の建物に太陽光パネルの設置を義務化

・義務対象：大手住宅メーカー50社程度の見込み(家を買う/建てる都民ではありません)

・制度施行日：2025年4月1日

・太陽光パネルポータルサイト：
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/solar_portal/index.html

ご意見やご不明なことがありましたらご連絡ください。



東京都？八王子市？ 行政の役割分担は？

令和4年4月から東京都では**MCR(My City Report)**という道路通報システムが本格始動しました。

これは道路の損傷や不具合をスマホアプリから簡単に通報することが出来るシステムで、公民連携を進める事業と言えます。

一方で八王子市は**LINE**を活用して市政情報の発信をしてきましたが、同4月から道路通報ができることになりました。八王子市はMCRの試行期間には参加していましたが、LINEを採用することでMCRの参加をとりやめました。

情報発信として市民に普及してきたツールを更に活用することは非常に評価できます。

都と市、同じようなサービスを行う場合、必ずしも別々に行わず、連携をしていくことで、無駄な事業を行わなくても良いと思います。そうした中で、財源や権限は、市民に身近である市におろして、行政サービスをよりスムーズに行うことが出来ると考えます。

皆さんは行政の役割分担をどう考えますか？ご意見をお聞かせください。



東京都のコロナLINE相談

都内で新規感染者数が増えてきました。東京都では聴覚に障害があるなどで電話での相談が難しい方に「新型コロナ相談@東京」を開設しております。

QRコードから登録してください。



東京都の人権は大丈夫か？

8月30日から11月30日まで、東京都人権プラザでアーティスト・**飯山由貴氏**の企画展が開催されましたが、企画段階で映像作品の上映が採用されなかったとして、作家本人による記者会見が行われました。

それによると、東京都の担当者が関東大震災での朝鮮人殺害に触れた映像作品に関して、「都ではこの歴史認識について言及をしていません」とし、さらに関東大震災の朝鮮人追悼式典に小池知事が今年も追悼文を送らなかったという朝日新聞の記事のリンクを添付し、「都知事がこうした立場をとっているにも関わらず、朝鮮人虐殺を「事実」と発言する動画を使用する事に懸念があります」とのメールを人権プラザの担当者へ送り、同作品に対する懸念を示したとのことでした。結果、同作品が上映されることはありませんでした。

この問題は知事の政治姿勢を職員の方が「忖度」した結果に他ならないと考え、都議会立憲民主党として代表質問で知事に対して、

「関東大震災時の朝鮮半島出身者に対する殺傷行為をどう認識しているのか」

「知事の政治姿勢に忖度している東京都の状況をどう考えるか」と問いましたが知事は**答弁に立たず**、総務局長が答弁をしました。

私たちはこれこそが忖度であり、知事自身が歴史認識をきちんと答弁すべきと主張しました。



会派で東京都人権プラザの企画展を視察

●一方で東京都パートナーシップ宣誓制度がスタート

11月1日から東京都パートナーシップ宣誓制度がスタートしました。都議会立憲民主党として制度をより効果的なものにしていくため、区市町村や事業者との連携や制度の相互利用を進める必要性の見解をたしました。

都は「都内16自治体と証明書の相互活用連携協定を締結しており、未導入の自治体や事業者とも協議をすすめる」と答えました。

都議会立憲民主党・多様性PTの座長として、全ての都民一人ひとりの人権が尊重され、多様性を楽しむ社会を目指して、引き続き取り組んでまいります。皆さんからのご意見もお聞かせください。

東京都パートナーシップ宣誓制度
<https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/10jinken/sesaku/sonchou/partnership.html>

東京都議会議員 須山たかし事務所
 〒192-0046
 東京都八王子市明神町3-10-6
 イサムビル303
 E suyamaoffice1980@gmail.com

「須山たかし」で検索

都政へのご意見・ご要望をお待ちしております。
 右記QRコードからLINEでお寄せください▶▶

